

コニカミノルタグループ 2006年3月期 中間決算説明会

2005年11月7日
コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長 岩居文雄

● 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

● 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

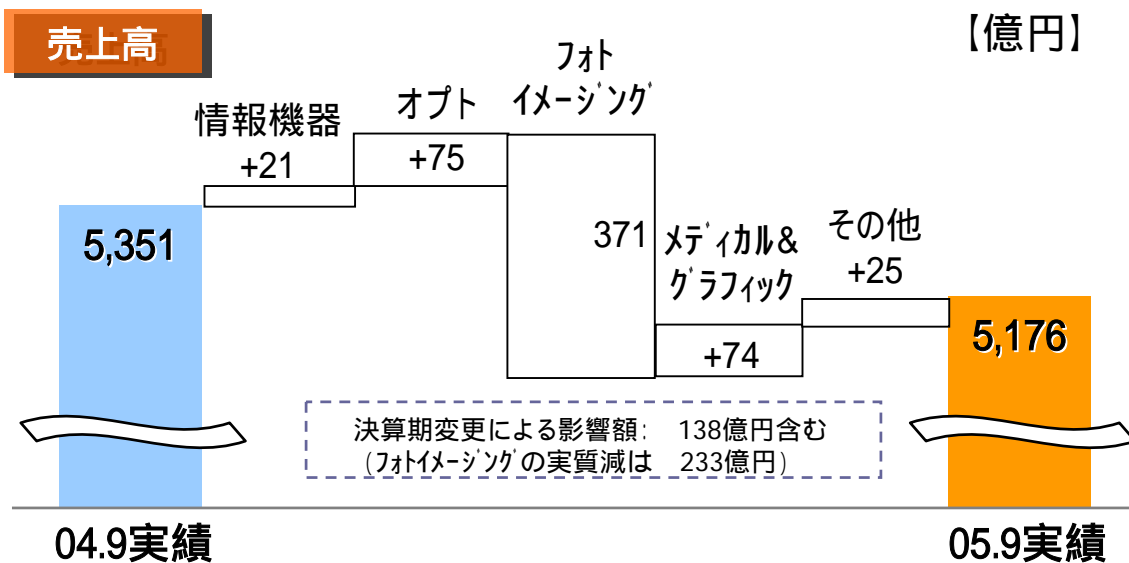
本日のご報告の要旨

- **中間期実績：売上は前年並みながら
営業利益は計画を上回り堅調に推移（前年比21%増益）**
 - カラーMFPの販売好調
 - TACフィルムの販売拡大
 - DSCの損失幅縮小
- **フォトイメージング事業の事業縮小を加速化**
 - 計画を前倒して事業規模の大幅縮小を目指す
 - 諸施策の前倒しにより、構造改革費用（約900億円）を05年度に一括処理の予定
 - 中間期/通期ともに当期純損失を計上の為、中間及び期末配当を見送り

連結業績

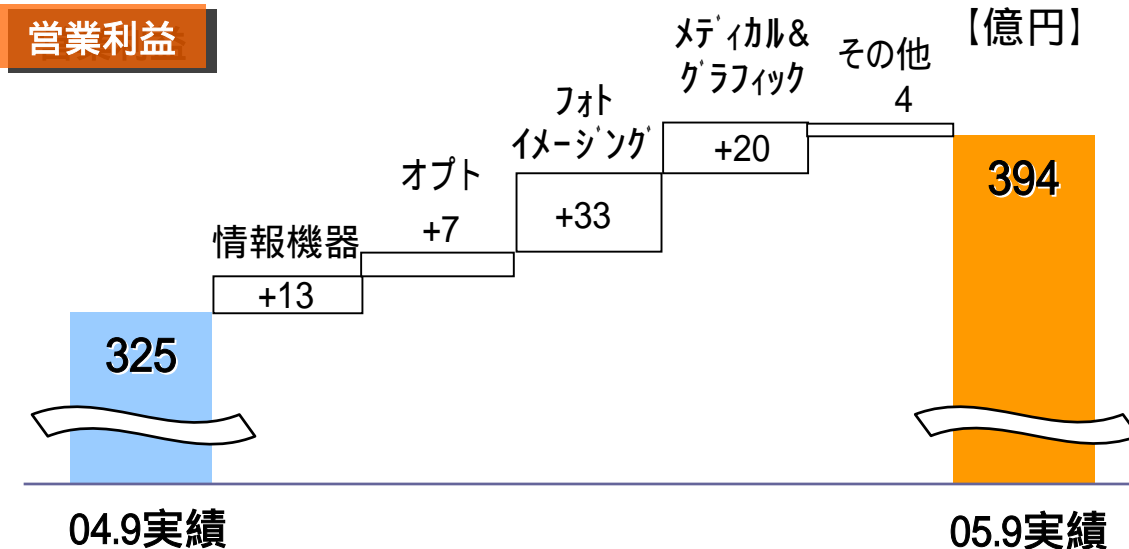
	a	b	a/b	c	【億円】 a/c
	05.9実績	04.9実績	伸長率	前回予想 (5/13)	達成率
売上高	5,176	5,351	97%	5,300	98%
売上総利益 (率)	2,391 46.2%	2,346 43.8%	102%	-	-
営業利益 (率)	394 7.6%	325 6.1%	121%	340 6.4%	116%
経常利益	352	282	125%	290	122%
税前利益	72	232	31%	-	-
中間純利益	35	82	-	70	-
EPS	6.56円	15.44円			
ROE(年間)	2.0%	4.8%			
設備投資(除くレンタル)	314	268	117%	-	-
減価償却費	254	252	101%	-	-
研究開発費	322	323	100%	-	-
FCF	115	48	-	-	-
P / L為替レート(円)			増減		差異
US \$	109.48	109.86	0.38	105.00	4.48
ユーロ	135.65	133.32	2.33	133.00	2.65

セグメント別売上高・営業利益増減(対前年)



■ 売上高: 175億円の減収

➤ 事業規模の縮小を進めている
フォトイメージング事業は大幅減収。
一方、他の事業では全て増収。

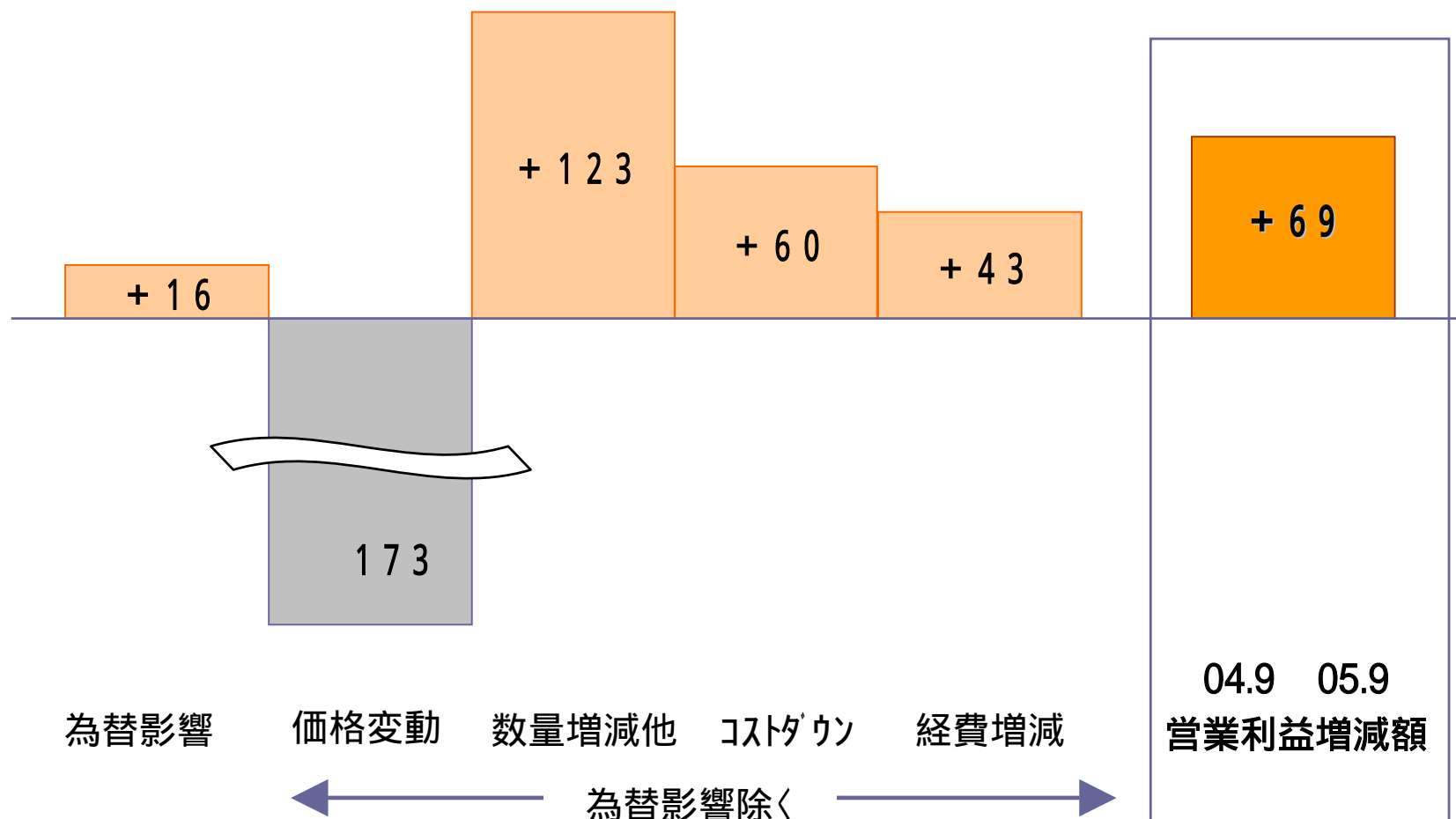


■ 営業利益: 69億円の増益

➤ 全ての事業で前年比増益。
(フォトイメージングは損失幅縮小)

営業利益増減要因

【億円】



情報機器事業

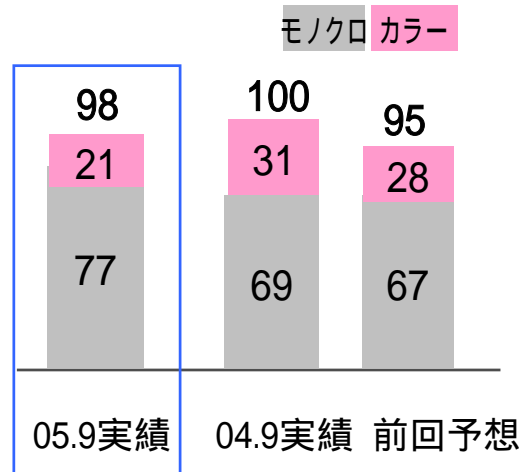
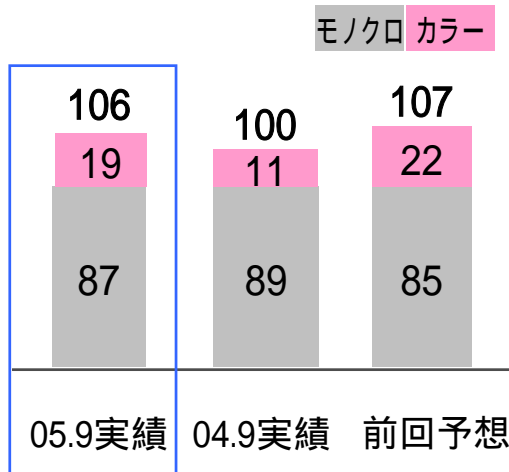
	【億円】		伸長率	前回予想 (5/13)	達成率
売上高	05.9 実績 2,835	04.9 実績 2,814	101%	2,900	98%
営業利益	281	267	105%	290	97%

MFP: 増収増益

- 営業利益率は、10%から12%へ改善
- カラー機が新製品中心に販売好調。
対前年同期比：82%増(台数)
- カラー化比率の上昇
Seg2以上：21% 33%
(全体：11% 18%)
- プロダクションプリント市場向けの高速MFPも堅調に推移。
対前年同期比：34%増(台数)
- 新製品展開は計画どおりに進捗。
カラー機：2機種発売
モノクロ機：9機種発売

MFP本体販売数量

LBP本体販売数量



LBP: 減収減益

- カラー機市場中心に価格競争が激化。
- カラー機OWNは前年比50%増となるもOEMの大幅減少により数量減。
対前年同期比：33%減(台数)

製品販売数量は04.9を100とした場合の指数

オプト事業

	05.9実績		04.9実績		伸長率	前回予想 (5/13)	達成率
売上高	515	440	117%	520	99%		
営業利益	79	72	110%	80	99%		

【億円】

■TACフィルム:増収増益

対前年同期比: 32%増(数量)

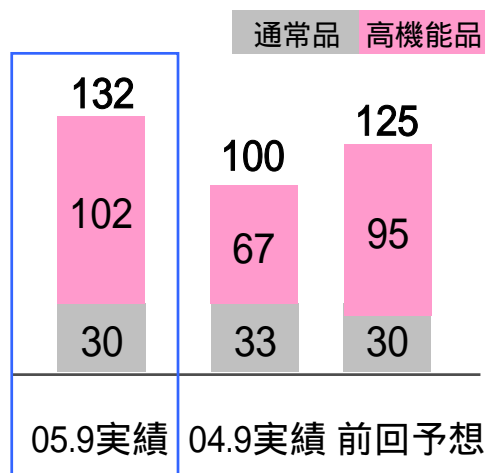
➤高機能品中心に販売好調。

■光ピックアップレンズ:減収減益

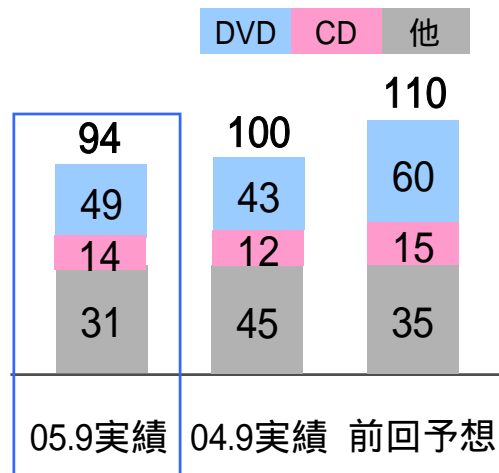
対前年同期比: 6%減(数量)

➤CD/DVD用では昨年並みの数量は回復。但し、全般に価格圧力が厳しくなる。

TAC販売数量



光ピックアップ販売数量



■DSC/VCRLens'ユニット:増収増益

対前年同期比: 34%増(数量)

➤VCR用中心に好調に推移。

■携帯向けレンズ/カメラユニット:増収増益

対前年同期比: 27%増(数量)

➤カメラユニット中心に採用機種拡大し大幅増。

製品販売数量は04.9を100とした場合の指数

フォトイメージング事業

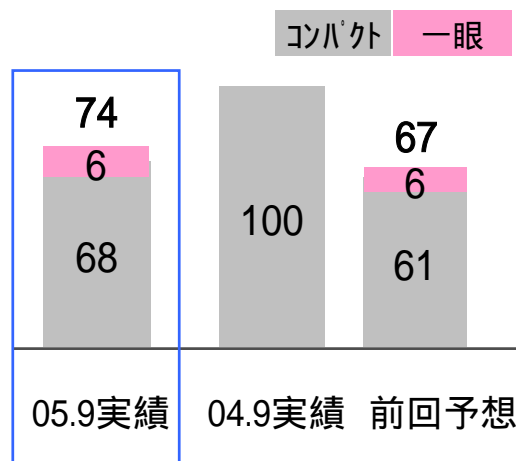
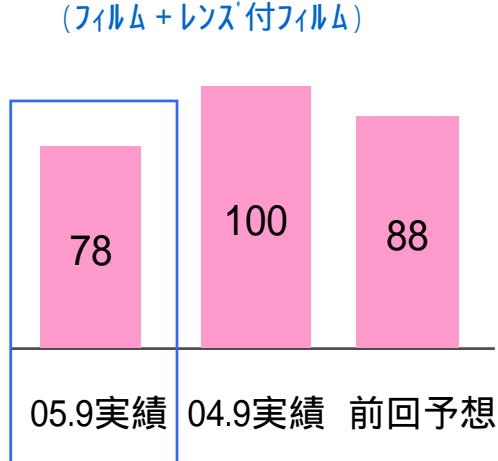
	05.9実績		04.9実績		伸長率	前回予想 (5/13)	達成率
売上高	1,057	1,428	74%	1,150	92%		
営業利益	7	40	-	30	-		

【億円】

決算期変更による影響額: 138億円含む

カラーフィルム販売数量 (フィルム+レンズ付フィルム)

DSC販売数量



製品販売数量は04.9を100とした場合の指数

■フォト: 減収減益

➤需要の急激な減少、不採算な取引の峻別により販売規模は大きく縮小。

対前年同期比:

フィルム 22%減(数量)

ペーパー 22%減(数量)

ミラホ 48%減(台数)

■カメラ: 減収増益

➤コンパクトは販売数量・ラインアップを絞り、売上規模は減少するが収益は改善。

対前年同期比: 32%減(台数)

➤8月発売の普及タイプのデジタル一眼レフ

「Sweet Digital」の販売は順調。

メ'ィカル & グラフィック事業 / 計測機器事業

メ'ィカル&グラフィック

	05.9 実績	04.9 実績	伸長率	前回予想 (5/13)	達成率
売上高	683	609	112%	660	104%
営業利益	63	43	145%	40	157%

【億円】

■メ'ィカル&グラフィック: 増収増益

- 医療分野では、デジタル入出力機器及びドライフィルム販売が好調に推移し増収増益。
- 印刷分野では、フィルムの減少をフルーフビジネスや小ロット印刷機拡販で補い売上は前年並みを確保。コストダウン施策等で収益面も改善。

計測機器

	05.9 実績	04.9 実績	伸長率	前回予想 (5/13)	達成率
売上高	28	26	106%	30	93%
営業利益	9	9	100%	10	87%

【億円】

■計測機器: 増収、利益横這い

- 色計測分野は、FPD業界向けの販売が好調に推移。

通期業績予想



KONICA MINOLTA

【億円】

	06.3予想 a			05.3実績 b	a/b 伸張率	前回予想 c (5/13)	a/c 遂行率
	上期実績	下期予想	通期予想				
売上高	5,176	5,324	10,500	10,674	98%	11,300	93%
営業利益	394	356	750	676	111%	900	83%
(率)	7.6%	6.7%	7.1%	6.3%		8.0%	
経常利益	352	248	600	536	112%	800	75%
税前利益	72	422	350	354	-	510	-
当期純利益	35	435	470	75	-	230	-
設備投資(除くレンタル)	314	336	650	564	115%	660	98%
減価償却費	254	326	580	530	109%	590	98%
試験研究費	322	368	690	660	105%	750	92%
FCF	115	65	180	63	286%	40	450%
P / L為替レート(円)					増減		差異
US \$	109.48	105.00	107.24	107.55	0.31	105.00	2.24
ユーロ	135.65	133.00	134.33	135.19	0.86	133.00	1.33

通期業績予想 セグメント別一覧



KONICA MINOLTA
【億円】

売上高

	06.3予想 a			05.3 b 通期	a/b 伸張率	前回予想c (5/13)	a/c 遂行率
	上期実績	下期予想	通期予想				
情報機器	2,835	3,115	5,950	5,648	105%	6,200	96%
オプト	515	585	1,100	917	120%	1,200	92%
フォトイメージング	1,057	793	1,850	2,685	69%	2,300	80%
メディカル&グラフィック	683	747	1,430	1,299	110%	1,400	102%
計測	28	42	70	53	131%	60	116%
HD他	57	42	100	72	139%	140	71%
合計	5,176	5,324	10,500	10,674	98%	11,300	93%

決算期変更による影響額: 161億円含む

営業利益

	06.3予想 a			05.3 b 通期	a/b 伸張率	前回予想c (5/13)	a/c 遂行率
	上期実績	下期予想	通期予想				
情報機器	281	369	650	558	116%	710	92%
オプト	79	91	170	160	106%	210	81%
フォトイメージング	7	43	50	87	58%	40	126%
メディカル&グラフィック	63	47	110	67	165%	90	122%
計測	9	11	20	16	126%	20	101%
HD他	30	120	150	39	-	90	167%
合計	394	356	750	676	111%	900	83%

	06.3予想(11/04)			05.3実績		前回予想(5/13)	
	上期	下期	通期	通期	伸張率	通期	遂行率
売上高	2,835	3,115	5,950	5,648	105%	6,200	96%
営業利益	281	369	650	558	116%	710	92%

下期以降の取組み

<MFP>

- カラー-MFPを中心とした拡販の実行
 - 販売：直販体制の整備・強化
新規ディーラーの開拓
新規大口顧客の獲得
 - 生産：無錫工場(製品組立)の立上げ
甲府第2プラント拡張(重合トナー)
- モノクロMFPは新製品中心のラインアップに切り替わり、採算改善

来期の展望

- カラー-MFPのラインアップ拡充によりカラー化率の向上を図り、更なる増収増益を目指す。

<プリンタ>

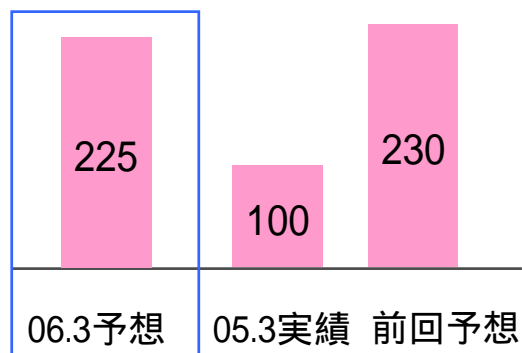
- カラー-LBP販売の質的転換を図る
 - 高機能商品販売への注力
 - 大企業ユーザーに向けた販売強化
 - MFPチャネルなどグループ資源の活用
 - OEMビジネスの拡大

- ハードの採算性向上とノンハード収益の極大化を図る。

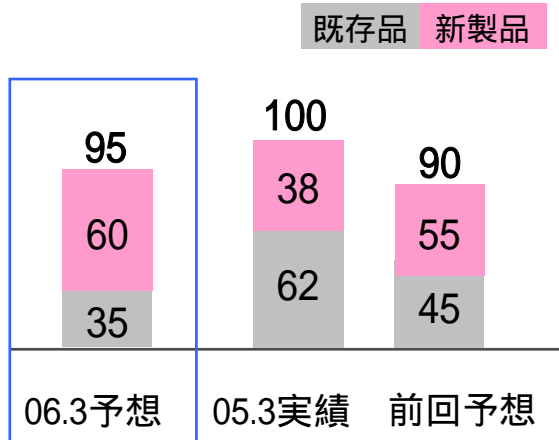
情報機器事業 主要製品販売目標

<MFP>

カラーMFP本体販売数量

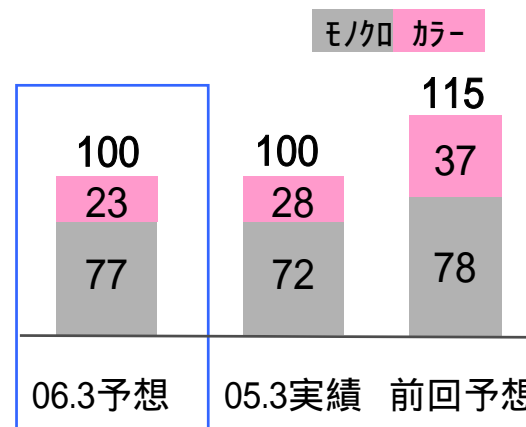


モノクロMFP本体販売数量

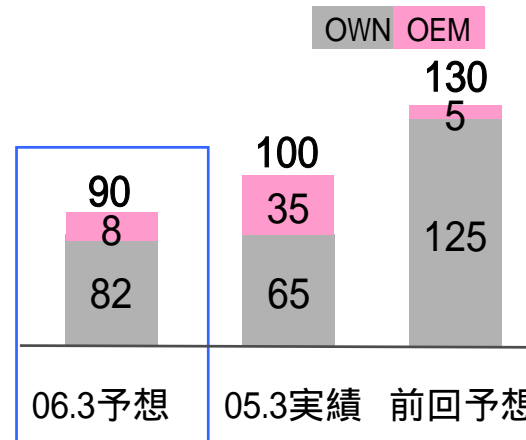


<プリンタ>

L B P本体販売数量(モノクロ/カラー別)



カラーL B P本体販売数量(OWN/OEM別)



製品販売数量は05.3を100とした場合の指数

オプト事業

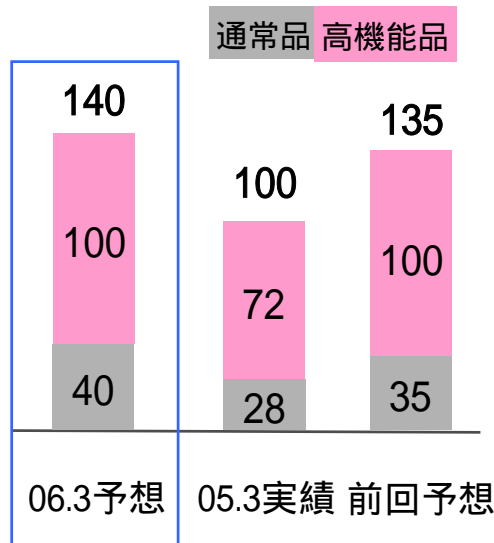


KONICA MINOLTA

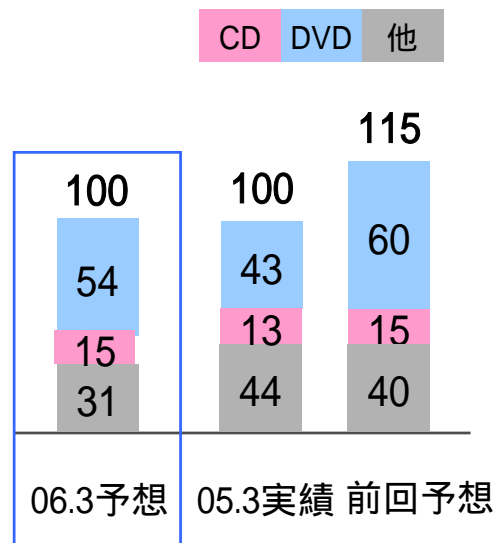
【億円】

	06/3予想(11/04)			05.3実績		前回予想(5/13)	
	上期	下期	通期	通期	伸張率	通期	遂行率
売上高	515	585	1,100	917	120%	1,200	92%
営業利益	79	91	170	160	106%	210	81%

TAC販売数量



光ピックアップ販売数量



製品販売数量は05.3を100とした場合の指数

下期以降の取組み

- TACフィルム: 更なる規模の拡大
 - 第3ライン本格稼働
- ピックアップレンズ: 収益性の維持
 - コストダウン強化と高収益品の販売強化
- DSC/VCR用レンズユニット: 販売量の堅持
 - 好調なVCR用中心にボリューム確保
- 携帯用レンズ/カメラユニット: 規模の拡大
 - 国内市場を中心に展開

来期の展望

- 市場成長、新規取引の獲得などにより、全ての事業領域で増収増益を見込む。

フォトイメージング事業

【億円】

	06.3予想(11/04)			05.3実績		前回予想(5/13)	
	上期	下期	通期	通期	伸張率	通期	遂行率
売上高	1,057	793	1,850	2,685	69%	2,300	80%
営業利益	7	43	50	87	-	40	-

決算期変更による影響額: 161億円含む

下期以降の取組み

- フォト、カメラともに、事業規模の一層の縮小を加速化。

メ'イカル&グラフィック事業・計測機器事業



KONICA MINOLTA

【億円】

メ'イカル&グラフィック

	06.3予想(11/04)			05.3実績		前回予想(5/13)	
	上期	下期	通期	通期	伸張率	通期	遂行率
売上高	683	747	1,430	1,299	110%	1,400	102%
営業利益	63	47	110	67	164%	90	122%

下期以降の取組み

- 医療分野ではデジタル入出力機器及びドライフィルムの更なる拡販
- 印刷分野ではハイエンドブルーフ拡販とプレートビジネスの拡大による収益確保

計測機器

【億円】

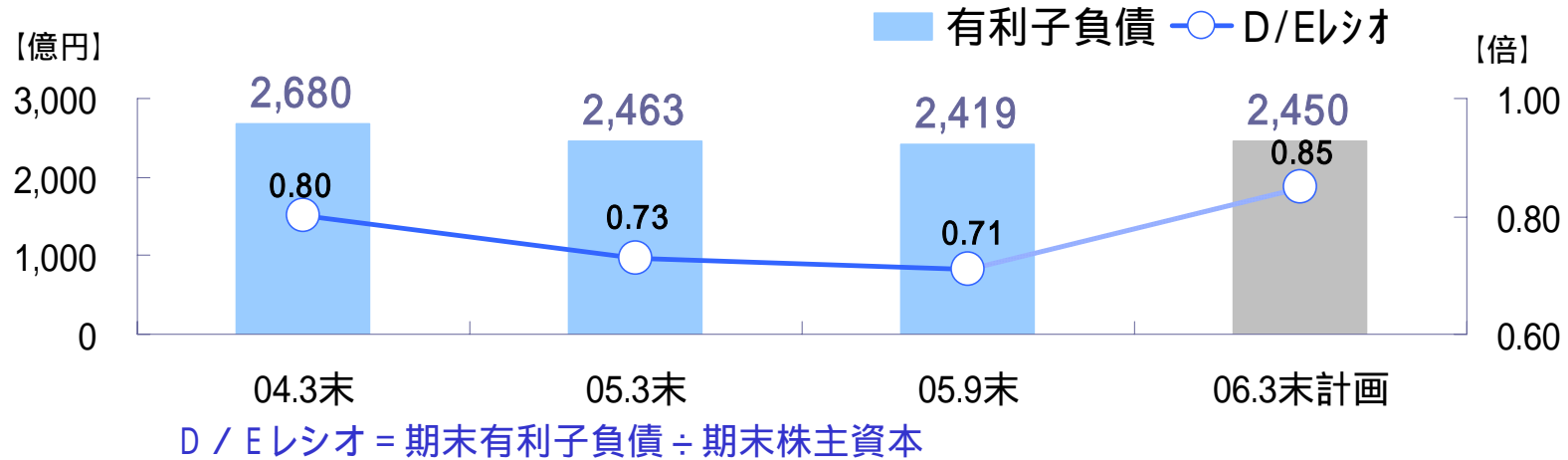
	06.3予想(11/04)			05.3実績		前回予想(5/13)	
	上期	下期	通期	通期	伸張率	通期	遂行率
売上高	28	42	70	53	132%	60	117%
営業利益	9	11	20	16	125%	20	100%

下期以降の取組み

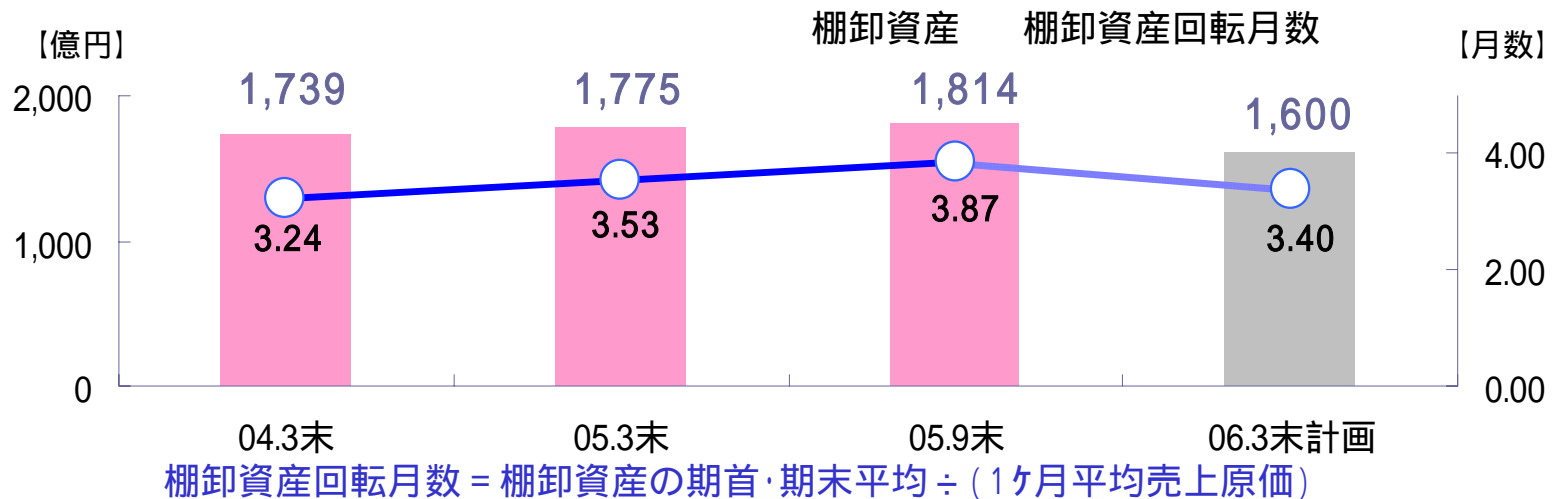
- 主力の色計測分野及び三次元計測分野を中心に当初計画に沿った進捗を見込む。

有利子負債/棚卸資産の推移

有利子負債及びD/Eレシオの推移



棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



フォトイメージング事業の 事業縮小について

これまでの取組み・方針



フォト事業

- 国内ラボ事業の縮小

- フォト事業・カメラ事業を統合し販売固定費を削減

銀塩は需要縮小に対応し合理化・効率化し、デジタルプリントを強化

- 国内人員(開発/生産/販売)削減しグループ内で再配置
 - 欧米販社の人員合理化
 - 一部欧州二次販社の閉鎖

05～08年度の4年間で340億円の構造改革費用を計上し、減損対応を含め構造改革を加速

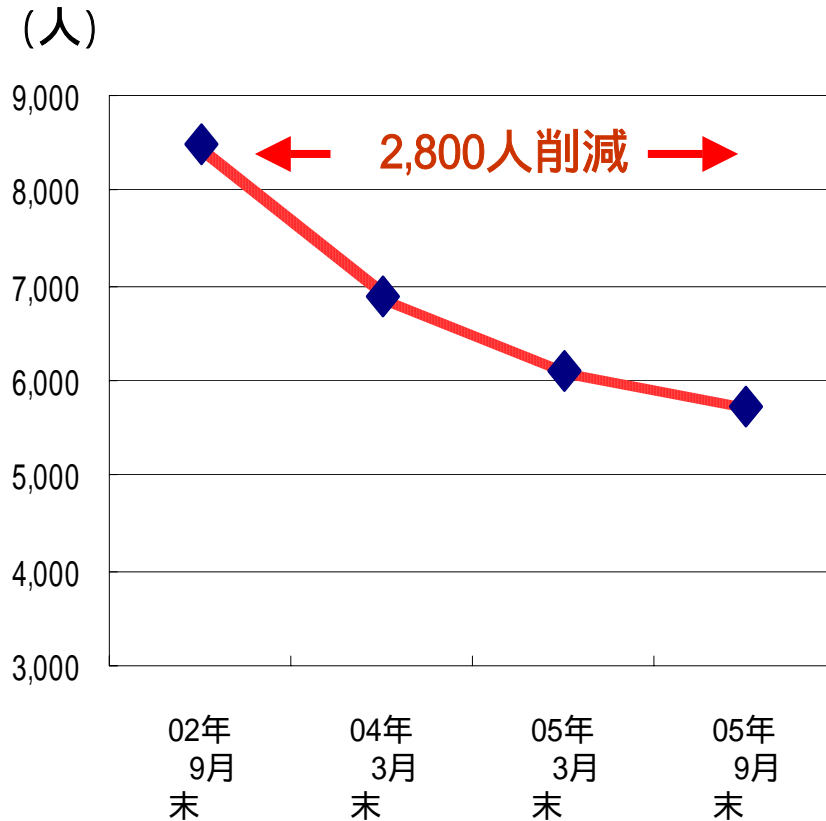
カメラ事業

- デジタルカメラの事業規模の早期拡大

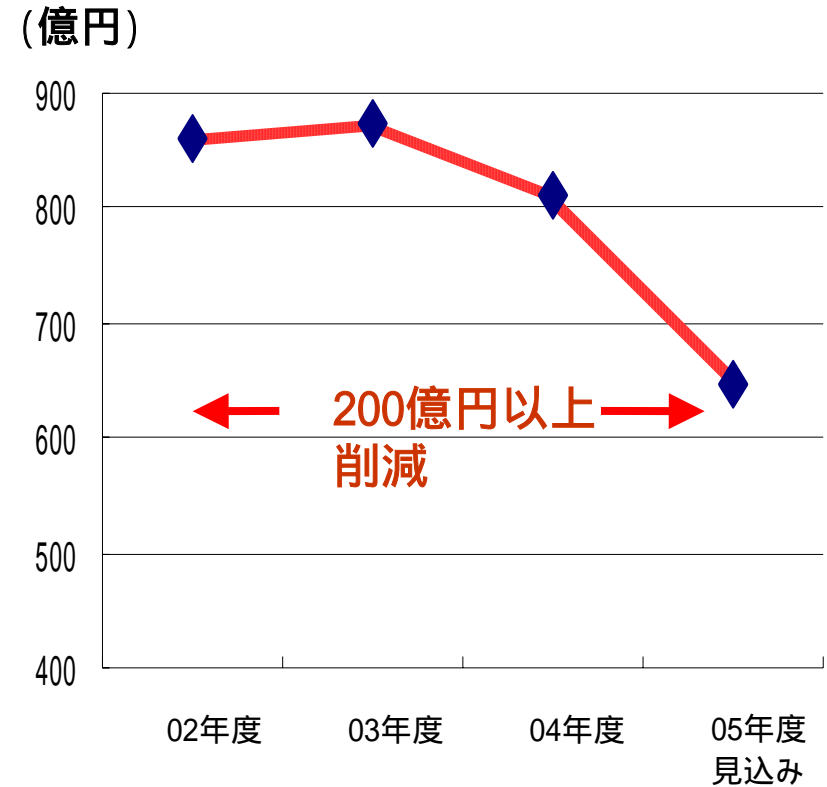
高付加価値分野へ絞込み、利益優先に方針転換

取組みの成果

人員削減の実績

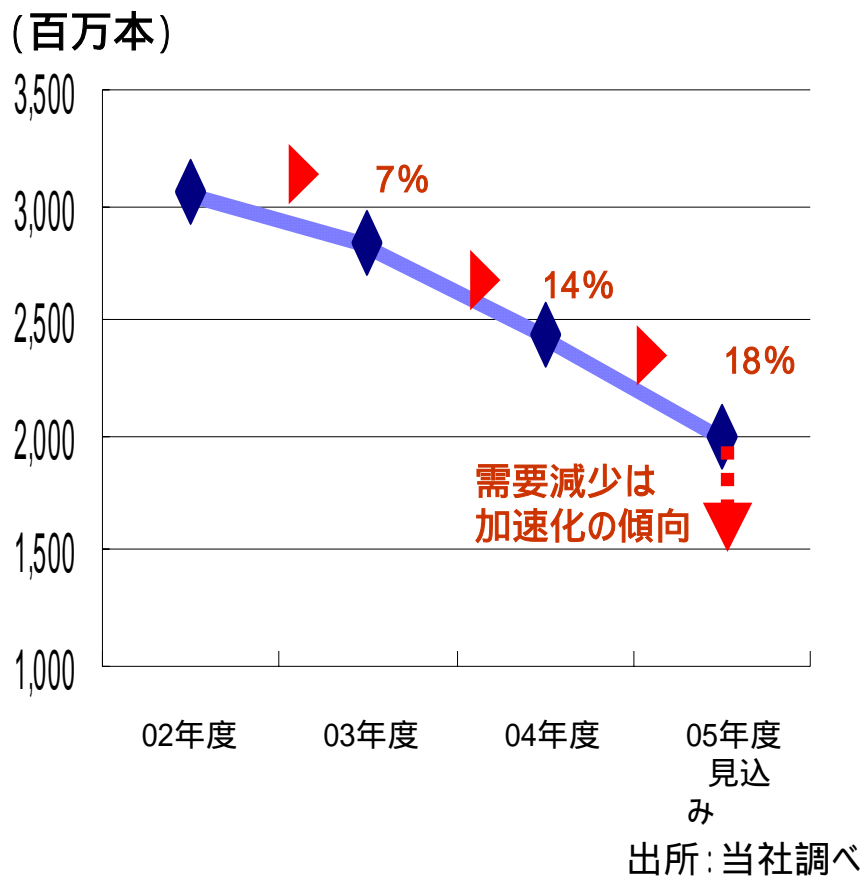


販管費削減の実績

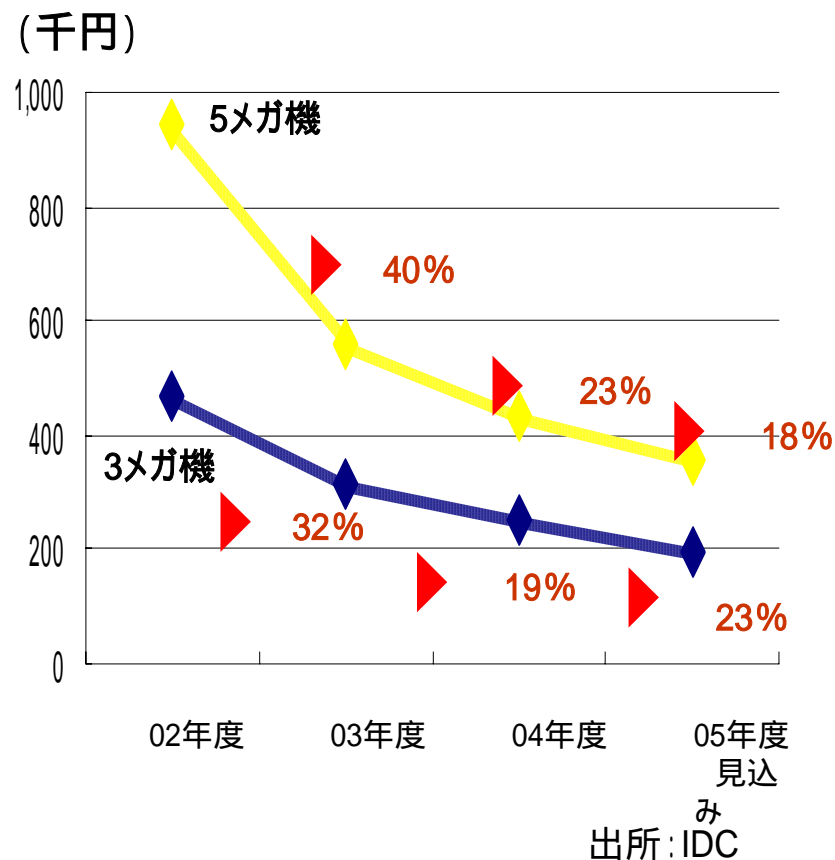


事業環境の激変

カラーフィルムの需要推移



DSCの平均単価推移



環境変化

需要減少のスピード
は想定より速かった

減少のスピードは
さらに加速度を増す

大幅な事業規模縮小の前倒し

リスクの最小化

グループ全体に与える
影響を最小化

新たな成長

フォトイメージング事業の
経営資源を成長分野へシフト

大幅な事業規模の縮小

開発

一部機能をグループ各社へ移管・再編成

生産

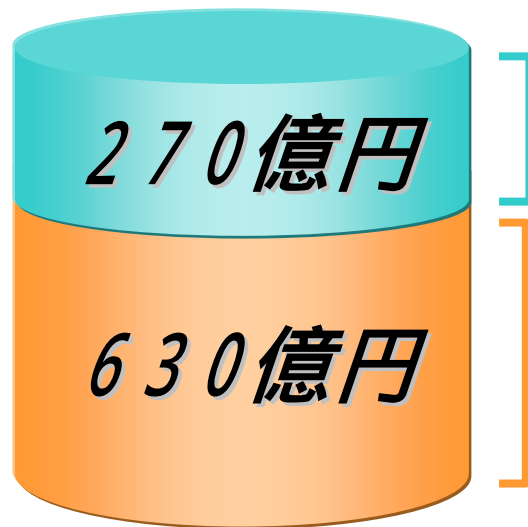
品種の絞込み等、前倒しで規模縮小

販売

不採算分野の整理
組織・拠点の再編成

諸施策の前倒しにより
05年度一括処理の予定(約900億円)

市場の変化に遅れることなく、あらゆる可能性に迅速に対応



- 生産設備の減損
- 生産拠点の整理・再編成
- 販売体制の整理・再編成
- 人員の合理化

全世界のグループ人員33,000人を
約10%削減

フォトイメージング事業 が保有するコア技術

- 材料技術
- 塗布技術
- 薄膜技術
- 光学技術



新規事業の育成

- ディスプレイフィルム
LCD、PDP、有機ELなど
- 有機EL用材料
- ライフサイエンス分野
遺伝子診断システム、医療用試薬など
- インクジェット分野 など

既存事業の強化・拡大

情報機器、オプト、及び
メディカル&グラフィックの光学設計
機器/ソフト開発

「B to C」を縮小し「B to B」へのシフトを加速

- フォトイメージング事業

営業損失の解消

- グループ全体

収益の大幅回復

参考情報

セグメント別 売上高/営業利益



【億円】

	売上高					営業利益				
	05.9 実績	04.9 実績	伸長率	前回予想 5月13日	達成率	05.9 実績	04.9 実績	伸長率	前回予想 5月13日	達成率
情報機器	2,835	2,814	101%	2,900	98%	281	267	105%	290	97%
オプト	515	440	117%	520	99%	79	72	110%	80	99%
フォトイメージング メディカル& グラフィック	1,057	1,428	74%	1,150	92%	7	40	-	30	-
計測	28	26	106%	30	93%	9	9	100%	10	87%
HD他	57	33	-	40	142%	30	26	-	50	-
グループ計	5,176	5,351	97%	5,300	98%	394	325	121%	340	116%

決算期変更による影響額: 138億円含む

販売費及び一般管理費

	a	b	【億円】
	05.9実績	04.9実績	a-b 増減
販売費及び一般管理費	1,997	2,021	24
販売費	376	439	63
人件費	766	767	1
研究開発費	322	323	1
その他	534	492	42

為替影響額: + 9 億円 (実質 33 億円の減)

営業外収支

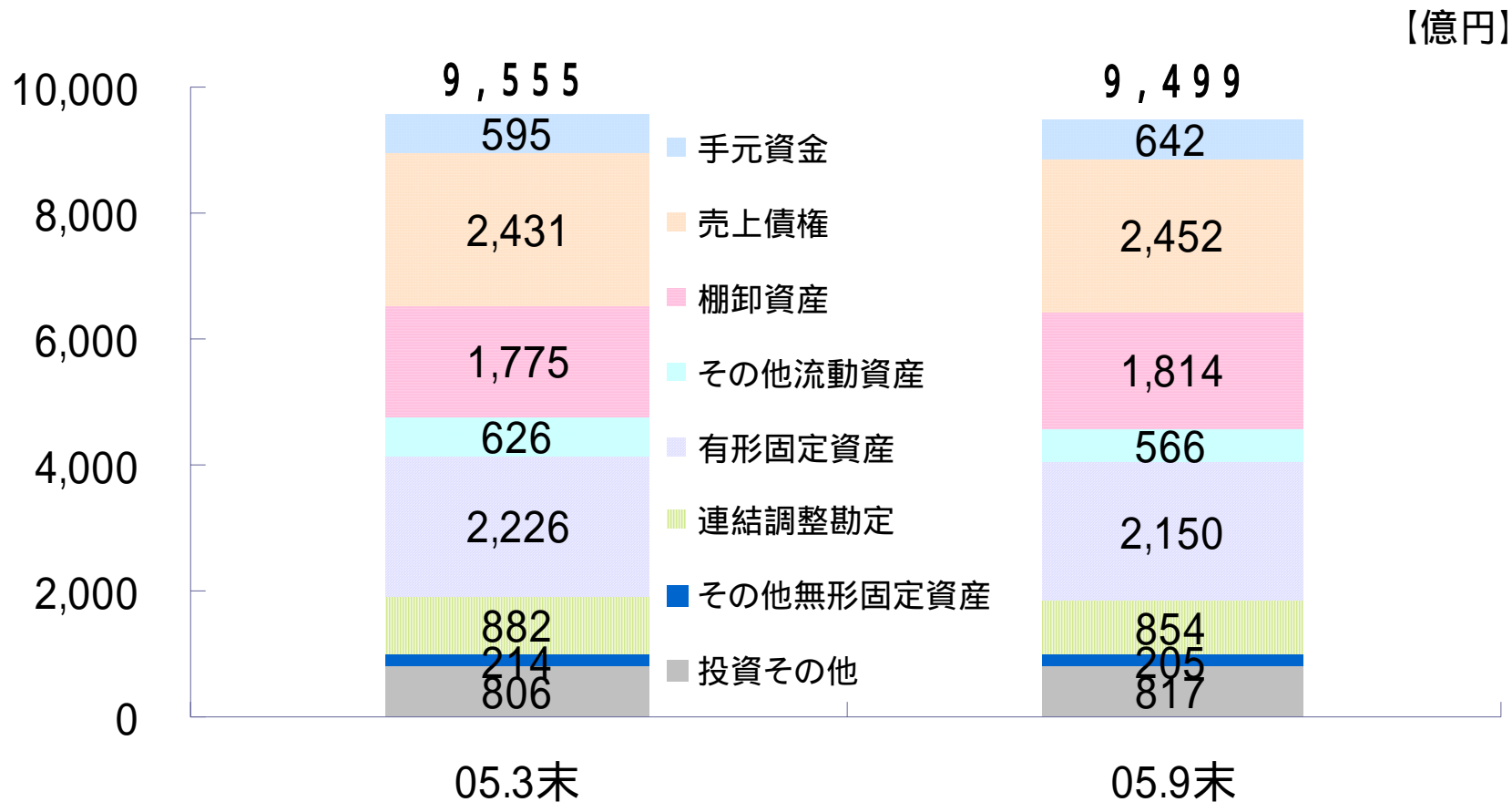
	【億円】		
	a 05.9実績	b 04.9実績	a-b 増減
営業外収支	42	44	2
受取利息・配当金	9	7	2
為替差益	23	29	6
その他	45	39	6
営業外収益計	77	75	2
支払利息・社債利息	28	28	0
棚卸資産評価・処分損	33	25	8
その他	57	65	8
営業外費用計	119	119	0

特別損益

	05.9実績	04.9実績	【億円】 増減
特別損益	280	49	231
特別利益	7	3	4
固定資産減損	233	-	233
フォトイメージング構造改革費用	12	-	12
固定資産廃棄・売却	18	22	4
その他	24	30	6
特別損失計	287	52	235

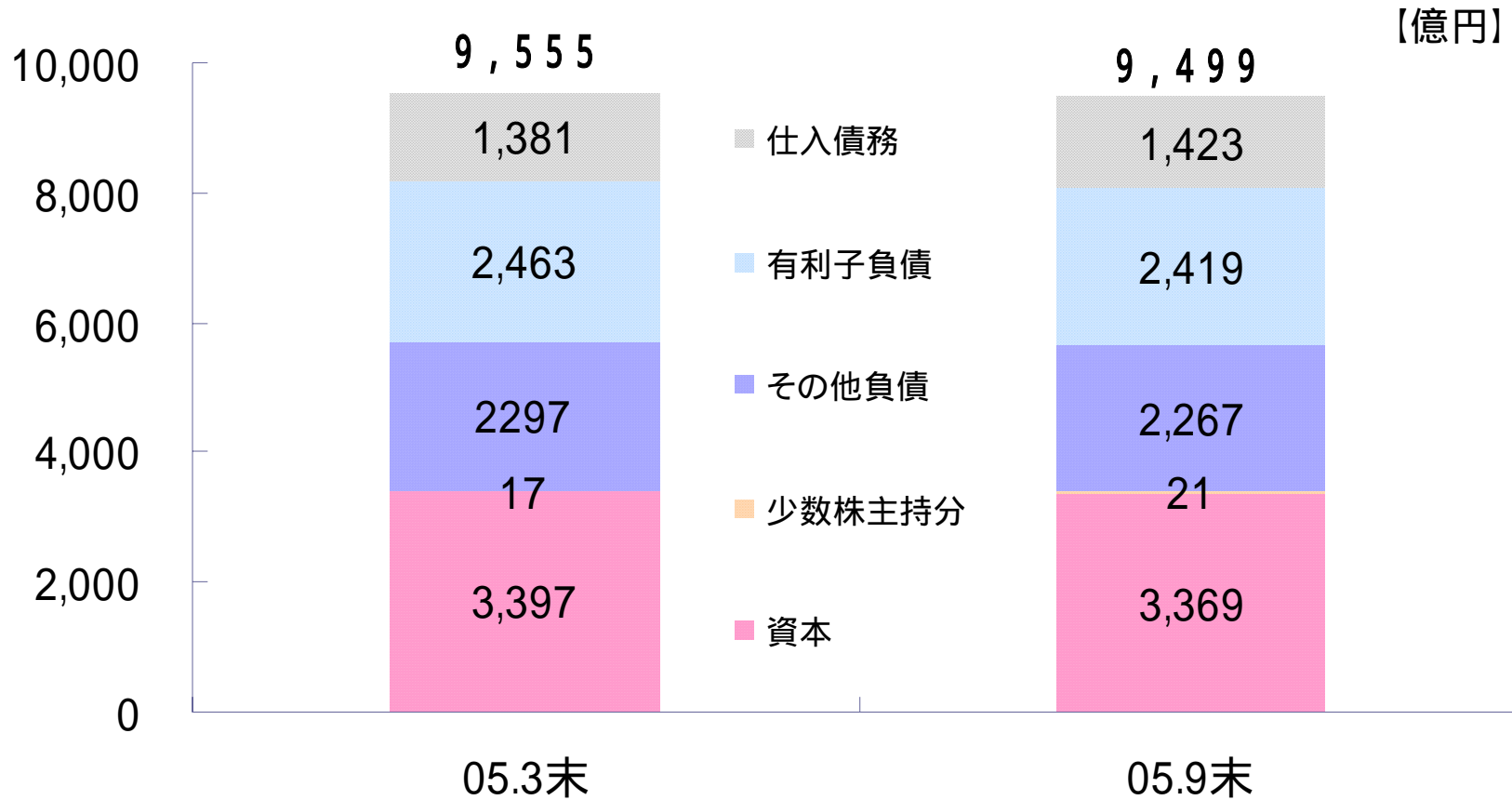
連結B / S (資産)

B/Sレ-ト	05.3末	05.9末	増減
\$	107.39	113.19	+ 5.80
1-口	138.87	136.13	2.74



連結B / S (負債・資本)

B/Sレ-ト	05.3末	05.9末	増減
\$	107.39	113.19	+ 5.80
1-口	138.87	136.13	2.74



キャッシュフロー



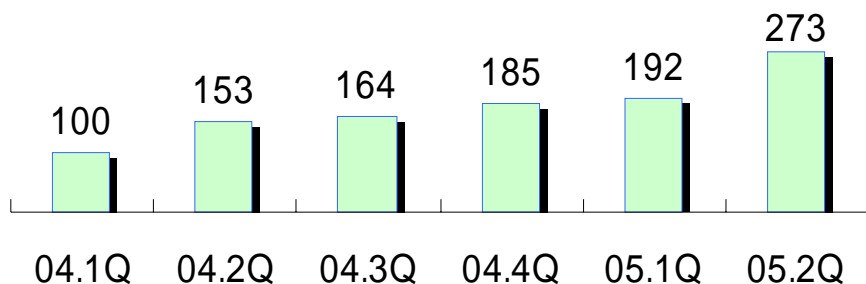
KONICA MINOLTA

	05.9実績	04.9実績	増減
			【億円】
税金等調整前中間純利益	72	232	160
減価償却費	254	252	2
固定資産減損損失	233	-	233
運転資本増減他	187	259	72
営業活動によるCF	372	225	147
投資活動によるCF	257	273	16
+ FCF	115	48	163
借入金・社債の増減	48	65	17
配当金の支払額	27	27	0
その他	0	1	0
財務活動によるCF	75	93	18

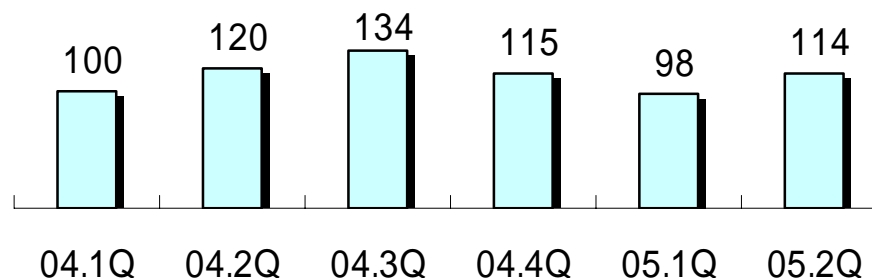
主要製品販売数量トレンド<情報機器事業>

04年度1Q実績を100とした場合の指数

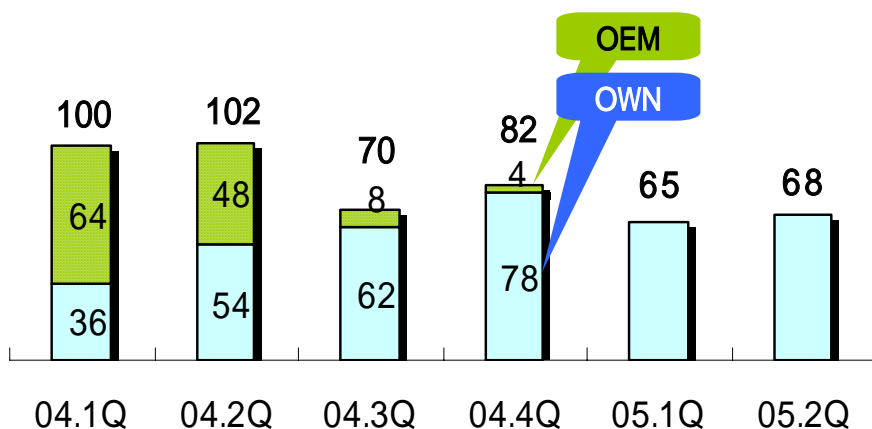
カラーMFP



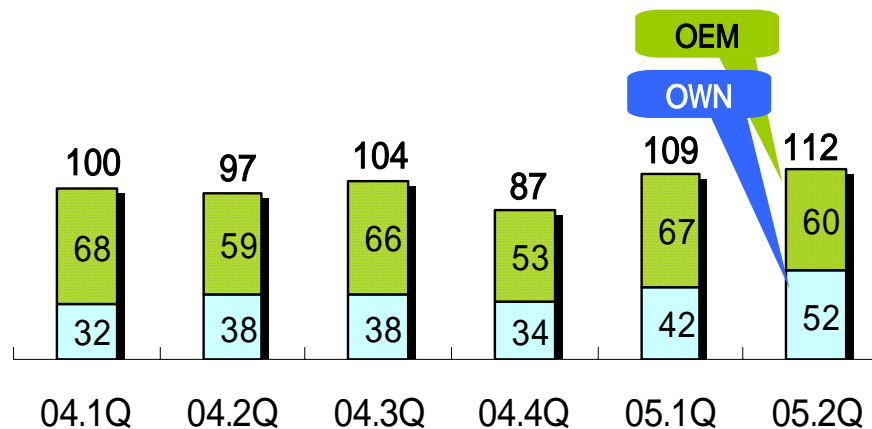
モノクロMFP



カラーLBP



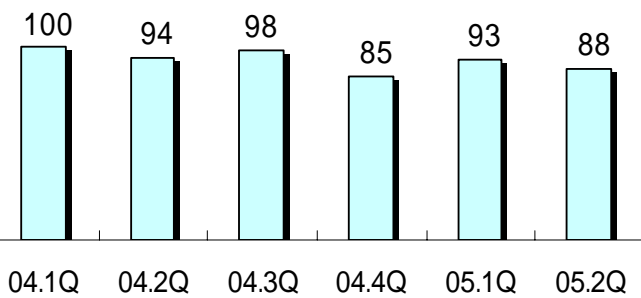
モノクロLBP



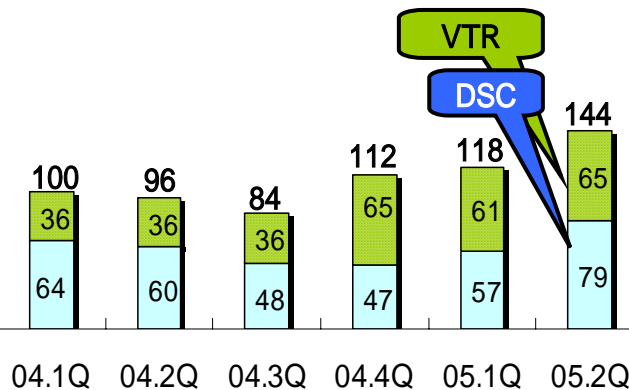
主要製品販売数量トレンド<オプト事業>

04年度1Q実績を100とした場合の指数

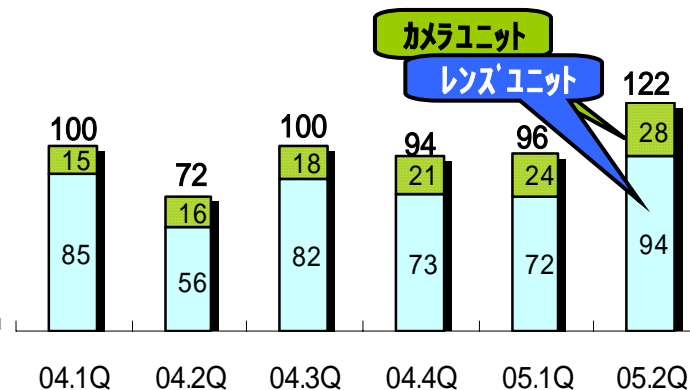
光ピックアップレンズ



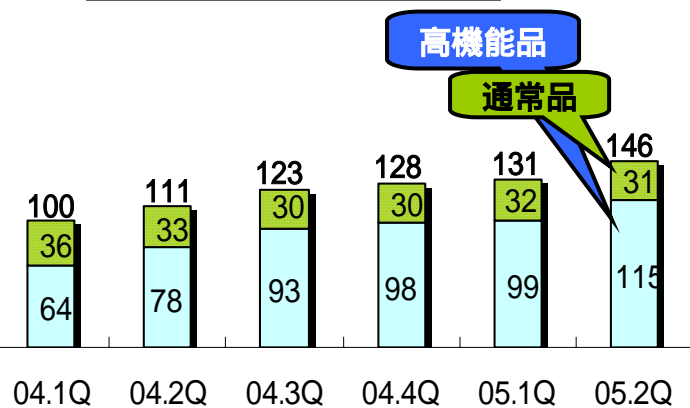
DSC用レンズユニット



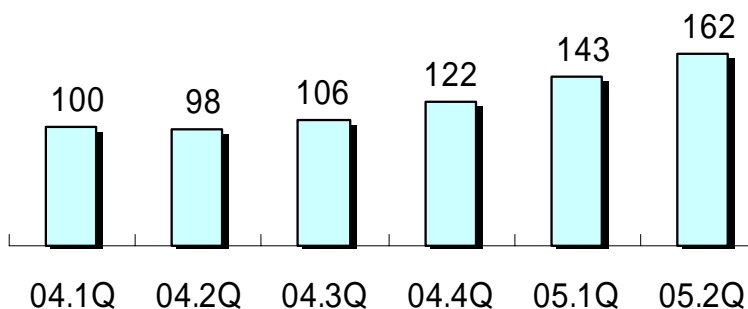
携帯電話用レンズ/カメラユニット



液晶用フィルム



ガラスハードディスク

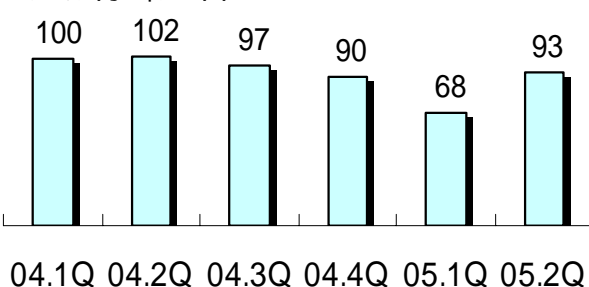


主要製品販売数量トレンド<フोटイメージング事業>

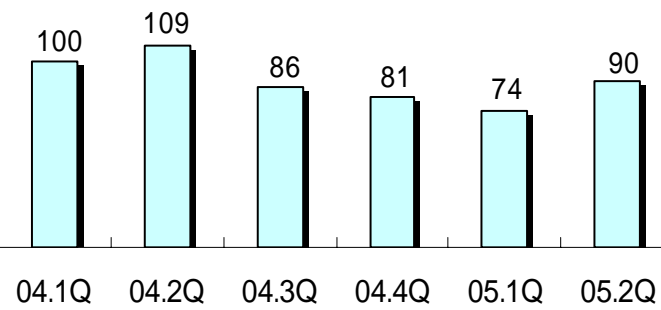
04年度1Q実績を100とした場合の指数

カラーフィルム

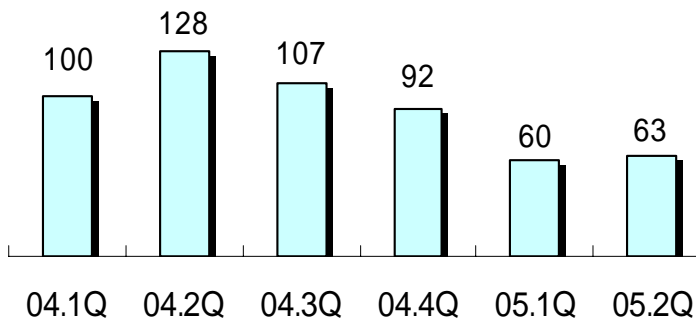
レンズ付フィルム含む



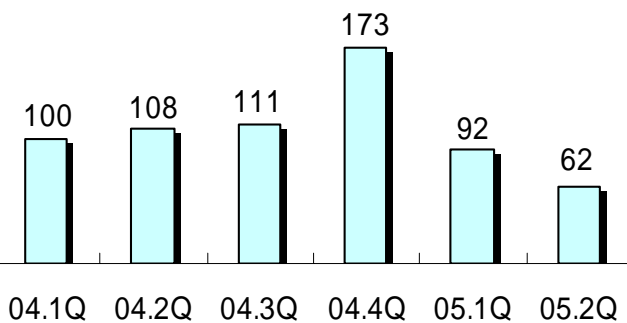
カラー印画紙



デジタルミニラボ



インクジェットペーパー



DSC

